



安全報告書



2018

新駅「四十九駅」



新駅「四十九駅」開業記念式典

伊 賀 市
(第三種鉄道事業者)

目 次

1. ご利用の皆様及び市民の皆様へ	1
2. 安全に関する基本的な方針	2
3. 安全重点施策	2
(1) 安全輸送の確保	2
(2) 施設・車両保守の確実な実施	2
(3) 安全教育・訓練の推進	2
4. 輸送の安全確保のための取り組み	2
(1) 平成29年度に実施した主な工事等	2
(2) 安全対策	3
5. 安全管理体制	4
6. 安全報告書への意見募集	5

1. ご利用の皆様及び市民の皆様へ

伊賀鉄道伊賀線に対しまして、日頃からご利用、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。

伊賀線は、通勤や通学、高齢者の重要な交通手段であることや、近鉄大阪線とJR関西本線のフィーダー輸送としての重要な役割を担っており、年間約141万人のお客様がご利用されています。また、忍者市宣言を行った本市では、訪日外国人旅行者数が増加傾向であり、忍者列車ツアーなどで年間約3,400人の外国人旅行者にご利用いただくなど、本市の観光振興の役割も担っています。

しかし、少子高齢化や人口減少、マイカー依存の高まりなどから、年々利用者は減少し、公共交通機関の経営に係る環境が一段と厳しさを増す中、今後も市民の暮らしを支える鉄道として、安全・安心・安定的な運行を継続していくために、平成29年4月1日から、本市が第三種鉄道事業者として施設等を保有し、伊賀鉄道(株)が第二種鉄道事業者として運行を担う、いわゆる公有民営化を行い、新たな上下分離方式による事業形態として運営を開始しました。

開業後は、新たな需要の創出、潜在需要の掘り起こしを図るため、新駅の整備を利用促進策の1つとして位置付け、工事に着手し、公有民営化1年目で無事開業を迎えられたことを大変嬉しく思います。

本市としましても、伊賀線の持続的な発展のため、今後もさらに皆様方とともに尽力して参りたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、伊賀鉄道の輸送の安全確保のための取り組みや、安全の実態についてまとめたもので、利用者の皆様へ広くご理解をいただくために作成、公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、ご意見等をいただければ幸いです。

平成30年 9月

伊賀市長 岡本 栄

2. 安全に関する基本的な方針

市長以下関係職員は、安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、鉄道施設及び職員を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針その他事業活動に関する基本的な方針（安全方針）を次のとおり定めています。

安全方針	運転の安全の確保に関する省令（昭和26年運輸省令第55号）第2条に規定する綱領（運転安全規範綱領）に則り、みんなで協力して安全レベルのさらなる向上を目指します。
------	--

【運転安全規範綱領】

- 一）安全の確保は、輸送の生命である。
- 二）規程の遵守は、安全の基礎である。
- 三）勤務の厳正は、安全の要件である。

3. 安全重点施策

（1）安全輸送の確保

伊賀鉄道(株)と連携して、安全輸送の確保に努めます。

（2）施設・車両保守の確実な実施

伊賀鉄道(株)に施設・車両の保守点検業務を委託し、確実な保守管理を実施します。

（3）安全教育・訓練の推進

伊賀鉄道(株)と連携して職員の安全教育を行うとともに、異例時対応の訓練を実施します。

4. 輸送の安全確保のための取り組み

安全方針及び安全重点施策に基づき、列車の安全運行を図るとともに、お客様の安全を確保するために実施した主な取り組みを記載します。

（1）平成29年度に実施した主な工事等

①車両の全般検査（1編成2両）

②信号保安設備の更新

踏切遮断機4台、ATS装置6箇所、踏切継電器60台、踏切機器8箇所

③線路設備の更新

PCまくら木交換250本、木まくら木交換100本

④電路設備の更新

き電線交換1,524m、電車線交換1,067m

⑤新駅「四十九駅」整備（平成30年3月17日開業）

- ホーム長さ約47m、スロープ長さ約34m、上家、ATS新設 等
- ⑥車内放送及び車内運賃表示機の多言語化（5編成10両）
 - ⑦平成29年台風21号により被災した盛土法面や電車線柱の災害復旧
仮復旧工事、地質調査測量業務、実施設計業務

（2）安全対策

①月例保守会議

第三種鉄道事業者である本市と、第二種鉄道事業者である伊賀鉄道株式会社において、毎月、施設等に係る保守会議を開催し、伊賀鉄道株式会社が実施した施設・車両の定期点検等の内容を確認し、適切に管理することにより、事故・トラブルの防止に努めました。

②定例会議

第三種鉄道事業者である本市と、第二種鉄道事業者である伊賀鉄道株式会社において、四半期ごとに経営に係る定例会議を開催し、伊賀鉄道株式会社から直近の輸送状況及び経営状況の報告を受け、本市からは、伊賀市地域公共交通網形成計画に基づく各種施策の実施状況の報告を行い、列車の安全運行や利用者の安全確保を図るための情報共有や、利用促進策の検討等を行いました。

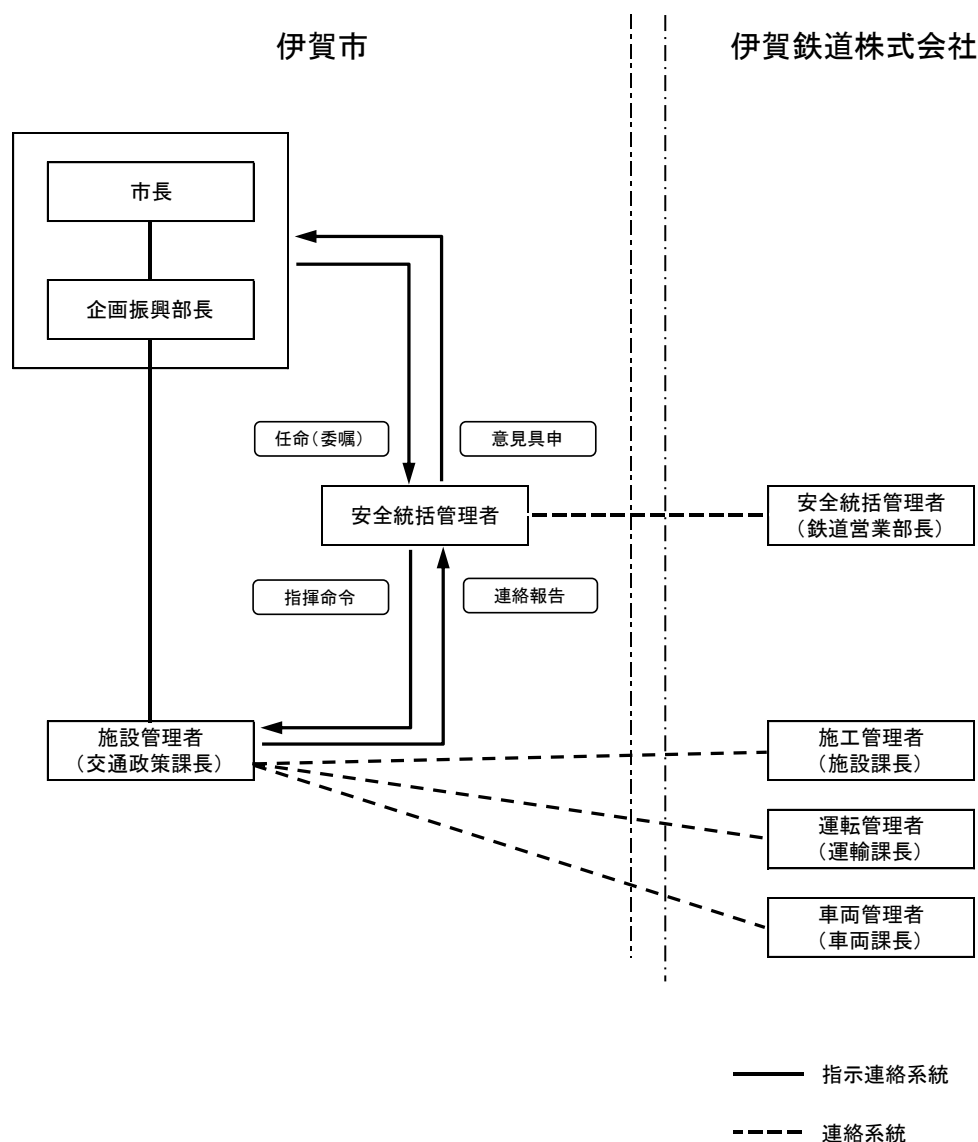
③テロ対策合同訓練

平成30年1月23日、伊賀鉄道株式会社上野市車庫内において、伊賀市・伊賀鉄道株式会社・伊賀警察署・伊賀市中消防署が協力して、駅に停車した列車内の不審物が突然発煙したとの想定で、お客様の避難誘導、消防署員による消火作業、警察犬を活用したテロリストの捜索及び検挙、機動隊員による不審物処理などの訓練を行いました。



5. 安全管理体制

市長をトップとする安全管理組織を下図のとおり構築し、安全統括管理者及び施設管理者等の役割や責任を明確化し、安全確保に係る業務を適切に遂行しています。



【各責任者の役割及び権限】

市長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
企画振興部長	安全統括管理者、施設管理者及び関係部署と連携し、鉄道輸送の安全の確保に必要な予算、要員の措置を行う。

6. 安全報告書への意見募集

平成29年4月に伊賀鉄道伊賀線は公有民営方式に移行し、新たな体制により運行を開始しましたが、市民の皆様のご支援のおかげで、2年目を迎えることができましたことを改めてお礼申し上げます。

地域に愛され、安心・安全で信頼される鉄道を目指すため、安全報告書や鉄道事業の取り組みについて皆様からご意見をいただき、今後に役立ててまいります。



〒518-8501 伊賀市上野丸之内 116 番地
伊賀市役所 企画振興部 交通政策課
TEL : 0595-22-9663 FAX : 0595-22-9852
E-mail : koutsuu@city.iga.lg.jp